

月山志津温泉「雪旅籠の灯り」始まりました！ ～2月23日(金)オープニングセレモニー開催～

今年で第13回となる「雪旅籠の灯り」は、寒河江ダムのある山形県西川町の志津温泉街において、月山志津温泉旅館組合が中心となり、月山朝日観光協会及び西川町を始め、大学(東北芸術工科大学・共立女子大学・跡見学園女子大学)や官公署(山形森林管理署・新庄河川・最上統管)等と広く連携し、昨年11月に実行委員会を立ち上げて開催に向けて取り組んできました。

開催の目的は、毎年6mも積もる雪を邪魔者とせず、逆に「雪は宝」として活用し、地域を活気付けようというもので、幅8m・高さ5mもの雪旅籠(旅籠形のかまくら)の製作は、おおまかな形は実行委員会が重機を使って整形した後、旅籠の外観のデザイン彫り込み仕上げは、大学生達が泊まり込みで行いました。

そして、大学生達の入念な仕上げ作業はぎりぎりまで続きましたが、無事に2月23日(金)17:30からオープニングセレモニーが行われ、「雪旅籠の灯り」が始まりました。

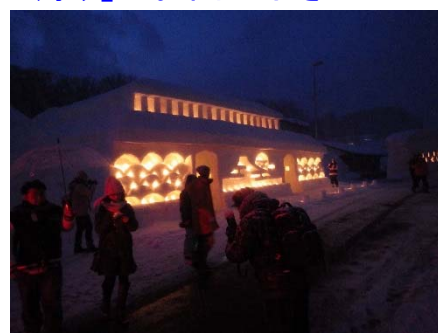
★開催日:(第1期)2月23日(金)～25日(日)、(第2期)3月2日(金)～4日(日)★

オープニング当日は穏やかな天気恵まれ、なぜか花火の時だけ雪が強く降りましたが、その後は雪も収まり、家族連れや外国からの観光客など、多くの方が会場を訪れ、蝋燭の炎に浮かび上がる幻想的な雪旅籠のデザインや、内部の飾り付けに見入っていました。

最上川ダム統合管理事務所としても、雪旅籠の一つをPRパネル展示ブースとし、ダムの役割の広報や、最近人気のダムカレー・ダムカードのマップ展示及びチラシ配布を行いました。★今週末は是非、月山志津温泉「雪旅籠の灯り」にお出で下さい★



雪空に浮かぶ花火



「湯殿山」
雪碑



アイスバー